

第11期決算および役員を選任について

アイベックスエアラインズ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：服部浩行）の第11期（平成21年3月期）決算について下記のとおりお知らせいたします。また、本日の定時株主総会および取締役会にて下記のとおり役員を選任がなされましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 営業実績

(単位：千円)

区分	前会計年度 (第10期)	当会計年度 (第11期)	増 減
事業収益	5,900,807	6,067,264	166,457
経常利益	206,227	198,836	△7,391
当期純利益	175,746	177,653	1,907
1株当たり当期純利益 (円)	2,092.21	2,114.92	22.71
総資産	4,450,234	5,591,712	1,141,478
純資産	△211,427	△33,773	△177,654

2. 事業の概況

当期における我が国経済は、米国発のサブプライムローンに端を発する世界的な景気の後退により、企業収益の悪化に伴う設備投資の減少、個人消費の落ち込みなど急速な状況の悪化へと局面は一転しました。航空業界におきましては、これまで安定的に増加しつつあったビジネス需要が減退し、厳しい経営環境を迎えております。各社ともなお一層の原価の低減に努めると共に、さらなるマーケットの深耕により各種の需要喚起策を打ち出しておりますが、状況を打開するに至っておりません。

このような状況の下、当社におきましてはリピート客層の拡大を図ると共に、就航率の向上に努め、需要層の取りこぼし防止を徹底して行いました。また原価面では燃料費の下落及び円高という追い風を最大限に生かしつつ、さらなる経費削減により新機種（CRJ700NG）導入にかかる準備費用を吸収すべく努めました。一方で社内体制の整備に注力し、昨年度において、航空局から航空機の整備及び整備後の検査を自ら行い、国による検査を省略できる認定事業場として認定されたことに引き続き、今年度は自社の機長を自ら審査し、国による審査を省略できる指定本邦航空運送事業者への指定を受けることができました。

この結果、事業収入は6,067百万円となり前期（5,900百万円）比で166百万円（2.8%）増加し、事

業費は5,465百万円で前期(5,288百万円)比で176百万円(3.3%)増加し、販売費及び一般管理費は374百万円となり前期(401百万円)比で27百万円(6.9%)減少しました。営業利益は228百万円となり前期(210百万円)比で17百万円(8.5%)増加、経常利益は198百万円となり前期(206百万円)比で7百万円(3.6%)減少、さらに当期純利益は177百万円となり前期(175百万円)比で1百万円(1.1%)の増加となりました。

3. 今後の見通しと課題

当社では平成22年の成田空港及び羽田空港の増枠等、取り巻く環境の変化を飛躍のチャンスと捉え、現行の4機稼働による限界を乗り越え、地方路線の再編に有利な地位を確保するために、ボンバルディア社製の新鋭機CRJ700NGを順次導入し、路線を拡充する計画です。こうした規模の拡大を確かなものにするため、社内システムの充実に向け全力を挙げて取り組み、その成果を梃子に、引き続き安全運航に留意しつつ、全日本空輸株式会社とのパートナーシップを継続的に発展させる所存です。また、組織力強化のため運航乗務員、整備士等の有資格者を中心に人材育成を積極的に行います。さらに事業の拡大効果を最大限に発揮するため業務の効率化に努め、早い時期での債務超過からの脱出を図ってまいります。

4. 役員を選任について

役職	氏名	備考
代表取締役会長	浅井 孝男	重任
代表取締役社長	服部 浩行	重任
取締役	久保信一郎	重任

貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

単位：千円)

科 目	前会計年度 (第10期)	当会計年度 (第11期)	増減
【資産の部】			
流動資産	1,172,526	1,180,298	7,772
現金及び預金	92,447	324,293	231,846
営業未収入金	472,700	397,341	△75,359
貯蔵品	268,392	331,434	63,042
前払費用	295,944	88,836	△207,108
未収消費税	-	7,489	-
その他の流動資産	43,041	30,903	△12,138
固定資産	3,277,708	4,411,414	1,133,706
有形固定資産	3,031,417	4,166,365	1,134,948
建物	12,205	11,424	△781
機械及び装置	35	26	△9
車両運搬具	555	444	△111
工具器具備品	29,107	29,106	△1
航空機	2,989,513	2,794,155	△195,358
リース資産	-	1,331,206	-
無形固定資産	2,125	1,756	△369
ソフトウェア	753	383	△370
電話加入権	1,372	1,372	-
投資その他の資産	244,164	243,293	△871
敷金保証金	239,025	241,106	2,081
長期前払費用	5,139	2,187	△2,952
資産合計	4,450,234	5,591,712	1,141,478
【負債の部】			
流動負債	4,456,423	4,781,278	324,855
営業未払金	67,250	13,614	△53,636
短期借入金	3,700,000	3,300,000	△400,000
一年内返済予定長期借入金	225,200	225,200	-
一年内返済予定リース債務	-	680,677	-
未払金	303,872	297,779	△6,093
未払費用	16,792	16,592	△200
未払法人税等	13,110	14,089	979
未払消費税等	23,915	7,142	△16,773
前受収益	6,983	6,983	-
賞与引当金	38,369	42,718	4,349
C整備引当金	55,026	138,013	82,987
その他の流動負債	5,903	38,468	32,565
固定負債	205,237	844,207	638,970
長期借入金	184,400	358,800	174,400
長期前受収益	20,837	13,854	△6,983
リース債務	-	471,553	-
負債合計	4,661,661	5,625,486	963,825
【純資産の部】			
株主資本			
資本金	4,200,000	4,200,000	-
資本剰余金	8,880	8,880	-
資本準備金	8,880	8,880	-
利益剰余金	△4,420,307	△4,242,653	△177,654
繰越利益剰余金	△4,420,307	△4,242,653	△117,654
純資産合計	△211,427	△33,773	△177,654
負債・純資産合計	4,450,234	5,591,712	1,141,478

損益計算書

自 平成20年 4月 1日
至 平成21年 3月31日

(単位：千円)

科目	前会計年度(第10期)	当会計年度(第11期)	増減
事業収益	5,900,807	6,067,264	166,457
事業費	5,288,859	5,465,149	176,290
売上総利益	611,948	602,114	△9,834
販売費及び一般管理費	401,784	374,027	△27,757
営業利益	210,163	228,087	17,924
営業外収益	48,394	24,159	△24,235
営業外費用	52,331	53,865	1,534
経常利益	206,227	198,836	△7,391
特別損失			
固定資産除売却損	22,142	5,101	△17,041
前期損益修正損	1,489	9,232	7,743
税引前当期純利益	182,594	184,501	1,907
法人税、住民税及び事業税	6,848	6,848	-
当期純利益	175,746	177,653	1,907

以上